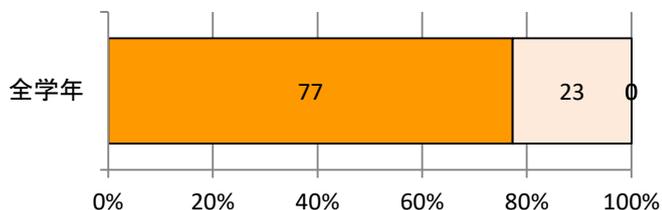


令和 6年度 学校評価アンケート結果(保護者)

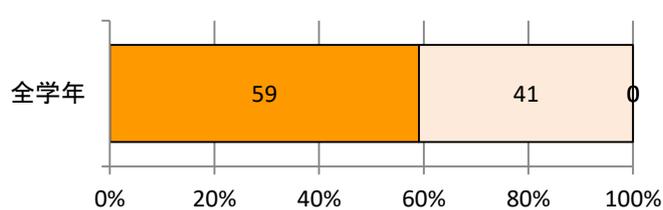
(令和6年2月15日～2月25日日実施 回収率79%)

とてもそう思う
 そう思う
 あまりそう思わない
 そう思わない (数字は%)

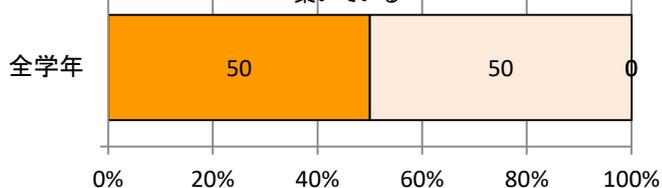
1 お子さんは楽しく学校生活を送っている



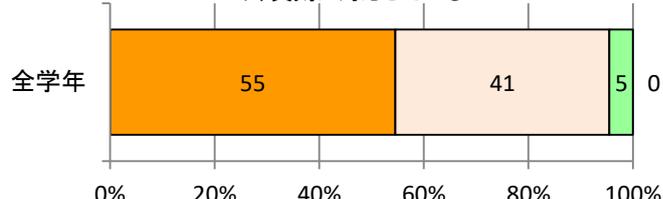
2 学校はわかりやすい授業に努めている



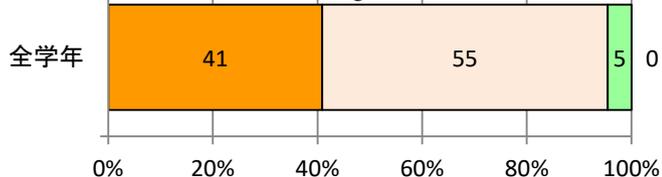
3 お子さんは同学年や異学年の友だちと良好な関係を築いている



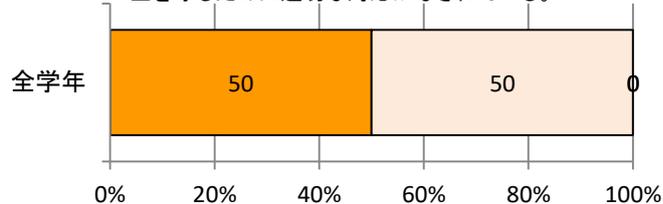
4 学校は、児童・保護者の悩みや相談にしっかり耳を傾け、真剣に対応している



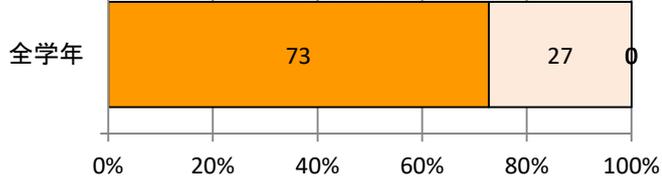
5 お子さんは学校のきまりを守り、友だちと協力して行動したり、話し合ったりして、より良い学校生活を自ら築こうとしている



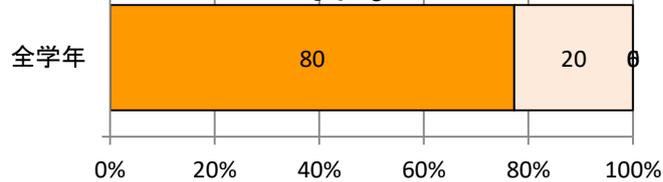
6 学校では火災や震災、日常の安全など、子どもの安全を守るために適切な対応がなされている。



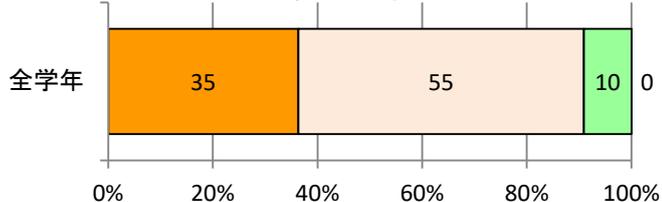
7 お子さんは縦割りグループで取り組むことが多い総合学習「希望」「くらし」へ自主的・意欲的に取り組んでいるものと思われる



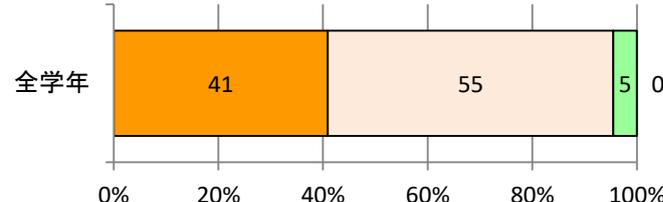
8 お子さんは自分の興味をもったことや得意なこと、頑張っていることに対して、積極的に学習・練習したり発表しようとしている



9 お子さんは自分自身が決めたことを最後までやりぬこうとしている



10 学校だより・学年だよりやホームページなどを通して、学校の様子をわかりやすく家庭や地域に伝えている



■本校の教育活動について、さらに充実させていくアイデア等がございましたらお書きください。

- 中等学校を作っていただきたいです。イベントが重なり、忙しく休み時間が取れない時は、フラストレーションが溜まるようなので、できれば、少しでもゆったりする時間を待っていただきたいです。
- 子どもは手作りの美味しい給食も楽しみに登校しています。いつもありがとうございます。
- 子供の個性で自主性を養うのが難しい(時間がかかる)子はいると思う。ある程度リーディングしたのちに体験を積み重ねた後の自主的な思考、活動を推進していくのも重要だと思っている。社会人でもやってみてと言ってくる人は多い。子供のうちの慣れは重要だけどスピードの見極めが必要
- 今年度も大変お世話になりました。ありがとうございました。今年度の活動で印象に残ったものベスト3は芸術祭・遠足・プレイデーです。芸術祭では、自分たちで作った作品を持ち帰りたいほど思い入れが強かったようで、やりたいことを叶えさせてくれた先生には本当に感謝しています。遠足では、自分たちで回りたいルートを相談して決める過程を経験できました。プレイデーでは、曲を聴いて振り付けを考えみんなで踊る創作活動を楽しむことができました。こうした自分のやりたいことを明確にし、意見を伝え、形にしていくことはとても大切な力だと思います。今年度と同様来年度も、日々の学校生活の中で意見を出し合い、話し合い、決断して行く機会が、これからもたくさん散りばめられていくといいなと思っています。
- 中等部も是非作って下さい！！
- 少人数を活かした体験活動や取材活動。教室で学んだことを、実際に確かめに行ったり体験したりできると学びが深まるのではないのでしょうか。また、先生が興味のあるもの、得意なものについて子どもたちを巻き込んでいく活動とかどうでしょうか(ふわとした意見でごめんなさい)？楽しく生きている大人の姿を子どもたちに見せてあげて欲しいです。今まで大変お世話になりました。これからも応援しています！
- いつも各家庭との連携を考えながらの学校運営を行なっていただき、誠にありがとうございます。家庭都合で休ませることはありますが、それ以外の時は体調不良か疲れが溜まりすぎない限りは積極的に学校に行く姿勢を見せてくれており、学校生活が楽しくて仕方ないことを言葉でも伝えてくれています。
- 個人的に、敷地内の竹林をうまく教育に取り込めたらなあと考えております。竹は成長が早く厄介者扱いされがちですが、うまく活用すれば自然や循環に関する学びを得られたら、竹細工などの工作にも活用できたりと、魅力的な存在でもあります。少しずつアイデアを形にしていくべく、相談していけたらななどと思っております。今後ともよろしく願いいたします。
- 不登校気味だった公立小学校での生活とは一転、子どもが毎日楽しそうに家を飛び出して行く様子を見て、親として涙が出るほどうれいす。この学校があつて本当にありがたく、出会えたことに感謝をしています。子どもが時折不安定になることもまだあるのですが、そんなときに寄り添って下さる先生方の対応にも、感謝の気持ちでいっぱいです。そして日々たくさんの校外でのアクティビティや学校行事を企画してくださつて、本当にありがたいです。心からお礼を申し上げます。改善点としてお願いしたいことは3点あります。1つ目は教室がオープンスペースであるが故、仕方がないことではありますが、授業中は他の学年の音などが気にならないような工夫やクラス配置をしていただきたいです。2つ目は、子どもの話なので本当のところはわかりませんが、外国語の授業(低学年)が毎年同じことをしていると伺っていて、そろそろ新しい風を入れてもいいのではないかと思います。わが家はネイティブではないので、英語オンリーでの授業は正直負担だったようで、今年の英語の時間にはわかることが増えて楽しくなつたと話しています。3点目は、お片付けです。先生方におまかせするのではなく、有志の保護者など皆で一緒に大掃除を行いたいです。乱雑なところや古いはがれかかった掲示物、不要なものはある程度処分して、素敵で美しい校舎を大切にしていきたいです。
- 子供に学校活動のアンケートをとってもらい、結果を保護者にもフィードバックして欲しい。
- 子ども達の感想を聞いていると、音楽の授業が、楽しむというより、質を高める方に重点が置かれているように感じます。特に感性や情緒が磨かれる科目だと思うので、もう少し楽しむことも重視して頂けるといいなと感じます。
- 字をきれいに書けるような教育をもっと充実させると、厚木こども科学賞のようなコンクールに応募した際に本校の良さが伝わると思いました。
- 中等学校ができて欲しく思います。また、イベントなど忙しい時が、続くと昼食時間なども限られて、子どもも先生も余裕がなくなるので、できればゆったりする時間をとって頂けると嬉しいです。
- 公共交通機関を利用する事がある児童もそうでない児童も公共交通機関でのマナーなどを学べる機会があると良いと思います。
- いじめストップ！のワールドアクションとして「ピンクシャツデー」を実践してみてもどうでしょうか。
- 愛知県が行っているラーケーションを取り入れていただきたいです。特に土曜日の出欠に関しては、資格、大会など校外活動や学習への参加の場合、欠席とはならず「出席停止・忌引等」と同じ扱いにいただければ子供の活動の域が広がると思っています。

■昨年度より、全学年の「とてもそう思う」と「そう思う」の合計が5ポイント以上差があった項目

- 1 お子さんは楽しく学校生活を送っている(95%→100%)
- 2 学校はわかりやすい授業に努めている(89%→100%)
- 3 お子さんは同学年や異学年の友だちと良好な関係を築いている(90%→100%)
- 4 学校は、児童・保護者の悩みや相談にしっかり耳を傾け、真剣に対応している(84%→96%)
- 5 お子さんは学校の決まりを守り、友だちと協力して行動したり話し合ったりして、より良い学校生活を築こうとしている(89%→96%)
- 6 学校では火災や震災、日常の安全など、子どもの安全を守るために適切な対応がなされている(94%→100%)
- 7 お子さんは縦割りグループで取り組むことが多い総合学習「希望」「くらし」へ自主的・意欲的に取り組んでいるものと思われる(94%→100%)
- 8 お子さんは自分の興味をもったことや得意なこと、頑張っていることに対して、積極的に学習・練習したり発表しようとしている(94%→100%)

■アンケート結果から今後に向けて

- 最後までやり抜く力を高めていくために、途中で投げ出さずに自分の役割を最後まで全うしたり、作品を完成したりした場合に、最後までやり抜いたことに対して称える場面を増やしていきたいと思います。
- 学校の様子の情報発信については、クラスルームによる学年と保護者間の情報共有・発信をさらに充実させるとともに、外部への発信としてSNSの活用を予算化して考えていきたいと思います。
- 行事がたて続けにあることで、子どもの余裕がなくなっている感は確かにあるので、1つの行事が終わったら次の行事に動くというよりも年間を通して立案・運営できる仕組み作りを考えるとともに、1人ひとりの進度に応じる事ができる支援体制の充実を図っていきたいと思います。
- 教員の得意分野や興味をもっている分野についてもオープンにしながら、授業や行事、委員会やクラブ活動などで子どもと共に取り組んでいける活動も考えていければと思います。
- 学校の竹林整備や清掃関係については、すでにエスポワール有志での活動のお話もいただいております、できる方々ができる時にできる限りで楽しみながら進めていただくと学校も大変助かります。
- 仕切りがないことによる音の干渉については、設立当初からの課題であり、それぞれの担任も授業の工夫や授業場所を柔軟に考えたりすることで対応してきましたが、落ち着いて学習できる環境とはなかなか言えないのが現状です。特に高学年には集中力を高めて課題に取り組み場面も多く要求されることから、全体的に授業の受け方、学年配置など改めて改善に向けて検討していきます。
- 英語の授業内容については、繰り返し行うことでの定着という面はありますが、ネイティブの先生とも話し合いをもち、子どもが新たな興味を抱きながら定着も図れる授業について考えていきたいと思います。
- 音楽の授業では、どうしても行事に追われて全体指導で態度などについて注意をする場面が多くなっているかと思います。テーマに沿って音を自分たちで創り出すというようなことは行われており、その中で楽しんでいる様子も見られますが、専科の先生とも相談しながら、音を楽しむ授業展開についても行事との関係も考えながら検討していきたいと思います。
- 公共交通を利用する際のマナー等は、行事でスクールバスや業者のバスに乗る際に学ぶ機会をもっていますが、さらに子どもたちの気付きを促せる方法を考えていきたいと思います。
- 字をきれいにという点では、書写の授業に限らず、丁寧に気持ちを込めて字を書く態度を養っていきたくて考えています。
- ピンクシャツデーは「いじめストップ！」の意思表示として、男女関わりなくピンクシャツやピンクの小物を身につけるカナダ発祥の世界的な運動ですが、まずは、子どもたちに「いじめストップ！」のための1つの方策として例示しながら、気運の高まりができたところで実践できたら盛り上がり、効果もあると考えています。
- ラーケーションについては、取り入れている自治体とそうでない自治体とあるようですので、趣旨をよく理解したうえで検討したいと思います。